

「みんなでボッチャをしよう！」

ボッチャとは？

ヨーロッパで身体に障がいのある人のために考案された、ボールを使ったスポーツです。基本ルールはありますが、ボールを投げるのが難しかったら、転がす、スロープを使ってみる等の工夫ができます。つまり、いろいろなやり方で参加できるということです！

対象 子どもから大人まで

目的やねらい

・学級全体

チームで協力したり応援したりして、みんなでゲームを楽しむ。

・個人

自分に応じた投げ方を考え、積極的にゲームに参加する。

ゲームの内容

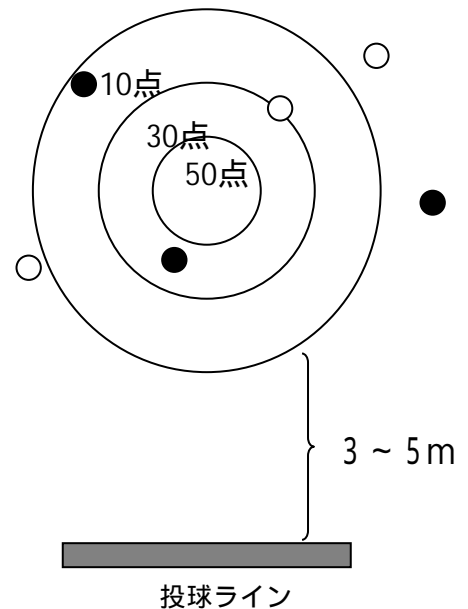
点数が書かれた的に向けて、ボールを投げたり、転がしたりする。ボールが止まったところを得点とし、合計を競う。

1チーム3～6人で赤、青のチームに分かれ、各々6つのボールを順番に転がす。

先攻と後攻を決めて、投球ラインから

ボールを交互に投げる。

全員が投げ終わったら、得点をつける。



ルールについて

ここでは簡単な遊び方を紹介しています。慣れてきたり、このルールで物足りない場合はパラリンピック公式ルールを採用するのも面白いです。下記HPを参考にしてください。

<日本ボッチャ協会>

http://www.boccia.gr.jp/index_london_2012_boccia-history.html#top

指導者の方へ

ゲームを楽しむために留意すること

< 知っておきたいこと、指導・支援の基本 >

- ・どのような動きの難しさがあるか？ではなく、「どのような動きならできるか？」「どうしたら動かしやすくなるか？」という視点で支援方法を考えていく。

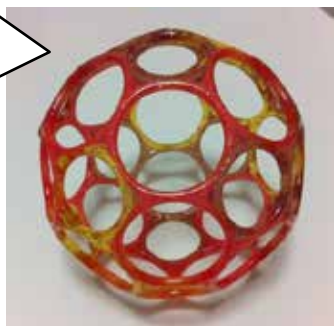
環境調整、全体への指導等

- ・ルールをわかりやすく視覚化して提示する。
- ・投げる場所や投げ方について、チームごとにアドバイスするよう指示する。

個別の指導

- ・使用するボールやボールの投げ方は本人の投げやすい方法を選択させる。
- ・投げる動作が難しい場合は、スロープを使う。ダンボールで簡易のスロープを作ってもよい。

オーボール(リトイズ社) 網目状のボールで中は空洞です。素材は柔らかく、軽くて掴みやすいボールです。



スロープの活用



< 対象生徒の困難さ >

- ・ボールを握ることが難しい
- ・ボールを握った後、手を放すことが難しい
- ・ボールを遠くまで投げるのが難しい
- ...etc



< 必要な指導や支援 >

- ・握りやすい、投げやすい大きさや重さ、形のボールを工夫する
- ・両手でボールを挟んで投げるができるか
- ・下から放ることならできるか
- ・ボールを転がすことならできるか
- ・少しの介助で、手首や指が動かせるか
- ...etc